

北の縄文文化回廊
に向けたクラブ活動



通 信

第 17 号



縄文祭り de 火起こし大会

目 次

1. はじめに	2
2. 平成26年度活動一覧	2
3. 各活動内容	3
4. 関連活動	7～8

1. はじめに

平成26年度の活動は、会員の皆様のご協力のもと無事終了することができました。縄文遺跡群の世界遺産登録を願い、フォーラムや講演会に参加し、知識を深めようと努力した1年でもありました。今年度最初の活動は4月に大船遺跡内やシーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルートに取り組みに関連した清掃活動や植栽に参加しました。また、土器作りや野焼き・草木染めさらに2回めの体験として岩偶づくりもしました。今後も、函館市埋蔵文化財事業団の普及活動に参加協力し、他団体関係機関と連携しながら世界遺産登録を目指し活動していきたいと思っています。また、函館市縄文文化交流センターの記念行事や新しい体験にも参加し、知識を深めるよう勉強してきました。これからも、さらに縄文文化の普及活動をしていきたいと思っております。以下、平成26年度の活動内容を報告します。

2. 平成26年度 活動一覧

活動日	主な活動	参加人数	活動場所
4月19日	清掃活動	7名	大船遺跡
4月26日	第17回「北の縄文CLUB」総会	12名	南茅部総合センター
6月7日	草木染め	13名	南茅部総合センター
8月23日	土器づくり	10名	大船遺跡展示館
10月4日	土器野焼き	10名	大船遺跡体験広場
11月8日	岩偶づくり	15名	大船遺跡体験広場
2月1日	シーニックdeナイト	30名	縄文文化交流センター

(関連活動)

4月29日	シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート 清掃活動・植栽	縄文センター
5月19日	創生の会 総会出席	南茅部総合センター
6月4日	ひろめ舟祭り	白尻漁港
7月9日	商工会縄文祭り打ち合わせ会議出席	南茅部支所
8月6日	シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート 総会出席	縄文センター
8月26日	商工会縄文祭り打ち合わせ会議出席	函館市
9月7日	北の縄文文化回廊づくり推進協議会総会出席	青森県
9月22日	縄文祭り参加	南茅部公民館
10月11・12日	伊達市 日本考古学会参加	伊達市
9月29日	大船遺跡 お月見会	大船遺跡
10月25日	三内丸山 草木染参加・交流	青森県
10月13日	垣ノ島遺跡現場見学会	縄文センター
11月3日	文化祭出展と勾玉作り体験	函館市
1月17・27日	キャンドル作成	縄文センター

3. 活動内容

(1) 清掃活動

4月19日（土）午前9時半集合、史跡大船遺跡に集まり私達と函館市埋蔵文化財事業団の方達と一緒に遺跡内の清掃活動をしました。盛土遺構の周りには春を告げる若草がたくさん生えていましたが、鹿や馬の糞もたくさん落ちていました。広々とした遺跡内には馬の足跡や子連れと思われる鹿の大きな足跡と小さな足跡もついていました。今日はお天気も良く眩しいくらいの日差しに包まれながら、てみと移植を持ち一輪車を押して、何度も行ったり来たり、しゃがむと腰が痛くて、背を伸ばしながら作業をしていきました。広々とした遺跡内をひととおり返ってみると、結構な時間がかかりました。それでも皆楽しく話をしながら拾い集めました。おかげさまで見違えるように遺跡内がきれいになりました。この活動は遺跡を見に来て下さる方達に気持ちよく見学していただけるように、少しでも役にたちたいと毎年C L U Bの活動に取り入れています。縄文の原風景を思い起こさせるこの遺跡が大好きな私たちは、これからも守っていきたいと思っています。



たくさんあるね



きれいになりましたね

(2) 第17回総会

4月26日（土）午前10時、函館市川汲町にある南茅部総合センターにおいて、第17回総会が行なわれました。この会場は新改装仕立てで新しい香りに包まれていました。総会では、会長の挨拶から始まり次に平成26年度の活動報告や決算報告があり、皆さんに承認していただきました。続いて活動計画案や予算案については多数の意見が出ましたが承認していただきました。総会終了後は昼食をとり、これからのクラブのあり方などが話しあわれ、他に雑談も交えて終了しました。その後、新しくなった公民館の中を見学して回りました。

次に函館市縄文文化交流センターへと移動しました。センターでは常時体験が可能なので、自分好みの体験をすることにしました。アンギン編みをする人や勾玉づくり、組紐の人に分かれて行いました。ちなみに私は組紐に挑戦してみました。とても賑やかで楽しかったですよ。体験ではセンターのスタッフの方達が親切に優しく教えていただきました。大変お世話になり有難うございました。また、利用させていただきたいと思っています。



組紐の編み方ですね



僕はアングイン編みです

(3) 草木染め

6月7日(土) 函館市南茅部総合センター調理室において、草木染めを行いました。材料は南茅部地区の野山に沢山群生しているシャクという植物の葉を使いました。この植物は多年草で高さ80～140cmにもなります。茎の上の方は分岐し、葉は2回、3羽状複葉で柄があります。小葉は細かく切れ込みがあり裏は白っぽく、花は複散形花序につきます。花序の中心にある花弁5枚は同じ形をしています。周囲につく花の花弁5枚のうち2枚は大きく、分果は長さ5～7mm、滑らかで黒くなります。このような植物は、私達の身近にたくさん生えています。染はとても楽しいです。色々な色に染め上げることができるので、参加されたみなさんは出来上がりに満足していました。ちなみにこのシャクは食べてもしゃきしゃきして、香りも良くとても美味しいです。



名前はしゃく



よくもんでね



出来上がりです

(4) 土器づくり

8月23日(土)、史跡大船遺跡展示館にて、土器づくりを行いました。今年のテーマは、縄文後期の香炉形の土器です。この土器は垣ノ島遺跡から出土しています。粘土は江別産のを使い、感触をあげながら夢中でこねておりました。参加者は慣れたもので頭の中に設計図を描きながら、どんどん形ができていきました。昼食の時間もまた楽しいひと時です。活動の時にしか、逢えない方もいるのでいろいろと話題に花が咲き、話に終止符が付きません。午後1時になり、また土器作り開始です。だんだん形ができあがってきました。いよいよ文様付けです。撚り糸で縦や横や斜めに転がしていくと、縄文土器らしくなってきました。見本に近い作品ができ上がり、笑みがこぼれている人、不満げな人もいました。しかし出来栄は上々です。



とても楽しいわ



なかなかいい感じ



てごたえがいいわ



香炉形土器です

(5) 野焼き

10月4日(土) 史跡大船遺跡体験広場に8時半に集まり、水汲みや土器の運搬、レーンのそばに薪を運ぶなど、した焼きの準備で始まりました。下焼きをする為には土の中の水分をしっかり飛ばさなければなりません。そのような作業を繰り返して2時間ぐらいかけ下焼きをしました。次にレーンの周りに土器を置いて、じっくり時間をかけ少しずつ回していきます。底の部分も水分を飛ばすため横にします。徐々に土器をおきの中に入れていきます。いよいよ本焼きに入ります。薪を入れて一気に燃やすと、凄まじい炎で、そばに寄っていくことができないくらい温度が上がります。メンバーの人達はタオルで口や顔を覆い、薪を絶やさず入れていきました。その合間に昼食の準備をし、縄文鍋の下ごしらえや、鹿肉を串に刺しました。そのほかの人は栗の木の下に行っては、沢山の実を拾ったり、キノコを採ったりして楽しんでいました。お昼の準備ができました。いよいよ昼食です。昔もこのような感じだったのでしょか。想像しながら肉や縄文鍋を味わっていました。とても美味しかったです。だんだん火も下火になっていきました。いい具合に土器も顔を出してきました。今回の土器は香炉形で飾りの部分も壊れることなく無事焼き上がり、感嘆の声が上がっていました。バケツに水も用意され、その中に土器を入れるとジュウジュウ音がします。水に入れることによって、色が鮮やかな煉瓦色になりました。皆さんは焼き上がりに満足していました。



縄文鍋つくりました



いよいよ火の中に

(6) 岩偶づくり

11月8日(土) 函館市南茅部総合センターにおいて、今回2回めの岩偶づくりをしました。函館市尾札部町にある八木遺跡から出土した「岩偶」を見本にして作ることにしました。岩偶とは人の形をしたものが旧石器時代から作られていました。その材料には、動物の骨や石、粘土をこねて焼いたものがあります。この時代には小さなものがほとんどで、その目的はわかりませんが、身を飾る、道具を飾るなど意識的に装飾の『美』を考えていたのでしょうか。



真剣そのものですね



うまくできました？



完成品です

(7) シーニックdeナイト2013 (シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート)

2月1日(日) 函館市縄文文化交流センター周辺にて、シーニックdeナイトが開催されました。今年は雪が少なく、クラブ自慢の国宝中空土偶の雪像を作ることができなくてとても残念でした。

キャンドルを設置する頃にも風が強く設置できるかどうか心配でした。キャンドルに灯りをつける頃はまだ風がおさまりません。それにとっても寒いし火を灯す頃にも風がやむ気配がなく、ついには消え、ついには消えの繰り返しでした。そうしているうちに風もやんできました。全部に灯りが灯るときれいです。心が和みます。今年もまた交流センターの周りをキャンドルの灯りで彩ることができました。



牛乳パックも使いました。



久しぶりです



優しい灯りです



点灯が始まりました



ラインがきれい



点火中です

4. 関連活動

日本考古学会伊達大会に参加して

10月11日・12日と2日間にわたって、日本考古学会伊達大会が行われました。日本考古学協会による研究発表会が北海道伊達市にて開催されました。これを受けて、日本考古学協会伊達大会実行委員会から北海道各地の考古学関係サークルに対し、その活動内容を説明するポスターの出展と解説の依頼がありました。北の縄文CLUBでは、第1日目は私と中浜氏、2日目は私が出席しました。会場ではポスターを出展している緒団体の人達と近況や活動状況・ポスターの内容などについて話し合いました。来場者に対するポスターの説明は事例発表が休止している昼が主です。質問としては、会員数や参加状態、縄文CLUB活動のアンギン編みに関するものがありました。各団体でも会員の減少や、活動に参加する人達が固定しているというのは共通するようです。アンギン編みについては、糸の材質や製作方法などへの質問でした。また、考古学協会の研究者の発表では、質疑の応酬など少々緊迫した場面もありました。研究というものは、ナアナアでは済まされないものと感じました。日本考古学研究者が一堂に会する、このような研究会に出席する機会を与えてくださった同会伊達大会実行委員会の方がたに感謝いたします。(平神)

青森県三内丸山へ研修参加

10月25日、青森県三内丸山時遊館にて、草木染の講座があり参加しました。染の材料は落葉高木のウワミズ桜というバラ科の桜属です。山野に自生し樹皮は紫褐色で小枝は秋に脱落します。葉は楕円形で先がとがり、縁に鋭いギザギザがあります。晩春葉より後に白色の小花をたくさんつけ、実は熟すと黒くなります。染め上がりはオレンジっぽい色に染まります。季節によっては色の変化があるようです。終了後は三内の方達との交流があり、とても楽しく染の指導やこれからの交流のあり方などが話し合われました。また、ぜひ参加したいと思って帰ってきました。お世話になり有難うございました。



かきまぜています



先生と一緒にパチリ



交流会の様子

会員さんからの投稿

当方昨夜の雨で桜も散り始めております。きっと26日の総会は皆さんで桜を見ながらの楽しい昼食会のことと思います。参加出来なのがとても残念です。ごめんなさい。季節の変わり目お体をご自愛くださいませ。(A)

昨年の野焼きの行事楽しかった。空には虹がかかってラッキーでした。総会、今年も不参加になりますが、ご盛会でありますように……。秋の行事には参加したいとおもっています。

(S)

2015年8月31日 第17号発行
発行 北の縄文CLUB
連絡先 北海道函館市臼尻町 603-1
特定非営利活動法人
函館市埋蔵文化財事業団内
TEL 0138-25-5510
FAX 0138-25-5606